



教育実習生から学ぶ

校長 斉藤 康

9月4日（木）から26日（金）の約3週間、大学より教育実習生が2名来ています。最初に私から生地小学校の概要や学校の教育目標等を含めた教育活動全般について二人に説明しました。その後、「教育実習に来たのはなぜ？」と聞いてみました。二人とも「子供に関わる先生になりたいからです」等と答えてくれました。真剣に教師を目指す若者が減っている中（若者自体が減っているのですが・・・）貴重な若者です。社会は様々な価値観があふれており、当然子供たちも様々です。様々な子供たち一人一人に合わせて関わることは大変なことです。それでも教師は一人一人と正対して向き合っていかなければなりません。教育実習は当然実習生の勉強の場です。しかし実習生の純粋な「子供と関わりたい」という思いや学んでいる真摯な姿から私たち教員も初心を思い出し、力をもらっている感じがします。実習生の二人には、念願の教師になったときに本当の教師の醍醐味を味わってほしいと思っています。（教師の醍醐味って何だと思われますか？ご家庭での子育ての醍醐味は？）



【シェイクアウト訓練 9/2】

9月1日は「防災の日」です。1日遅れでしたが、2日に地震が発生した際の身の守り方を練習しました。今回は、シェイクアウトという訓練に取り組みました。シェイクアウト訓練とは、地震から身を守るための三つの安全行動（①姿勢を低く ②頭を守って ③揺れが収まるまでじっとする）を各人がいる場所で約1分間行うというものです。これを全校児童でやってみました。児童たちは担任の説明を理解したようで、しっかり三つの安全行動ができていました。地震等の災害は学校にいるときだけで起こるわけではありません。いつ、どこにいても備えておく必要があります。

ご家庭におかれても「もしもの災害時にどう行動するか」をお子様と話していただけたらと思います。

【代表委員会 9/5】

2学期初めての代表委員会が開催されました。今回の協議は「運動会のスローガン」を決めることでした。各学級で話し合われたことを代表の児童が発表していきます。「思い出に残る運動会」や「みんなで協力し合う運動会」、中には「倒れるくらい頑張る運動会」（倒れてしまっても困るのですが・・・そのくらい精一杯取り組むってことですよね）といった言葉が黒板に書き込まれていきます。

どのクラスからも、「運動会をよりよくしたい」という思いが伝わってきました。今回は、時間がかかりスローガン決定までには至らなかったのですが、今後の話し合いにより決定します。どのようなスローガンになるか楽しみです。



【根室市立花咲小学校6年生との交流 9/9】



花咲小学校の児童の皆さんと生地小学校では、毎年オンラインで交流を行っています。今回は両小学校の6年生が事前に鑑賞した、北方領土が舞台のアニメーション「ジョバンニの島」について感想を言い合ったり、根室市北方対策専門員の谷内紀夫様の講演を聴き、北方領土に関する意見交換をしたりしました。オンラインではありますが、他校の児童や谷内紀夫様の思いや考えを聴き、生地とは異なる地域の雰囲気を感じているようで異文化交流のようでもありました。教科書だけでは、感じ取れない学びになったと思います。

【新しい掃除担当場所での掃除始めました 9/10】



1学期とは異なる場所やメンバーと掃除をしました。勝手が分からない下級生には、上級生が掃除用具の使い方や手順等を教えています。そして、生地小学校の掃除の合い言葉「さしすせそ」を守りながら取り組もうとしていました。「さしすせそ」が何なのかお子様にたずねてみてください。きっとすぐに答えてくれると思います。

【避難訓練（火災想定） 9/11】



今回の避難訓練は、家庭室から出火した想定で行いました。幸い雨もやんでいたため本番（本番がないようにします）と同じように避難先をグラウンドにしました。児童たちは避難訓練を何度も経験していますが、私は何度行っても過ぎることはないと考えています。児童たちには、「今回は授業中でしたが、休み時間や登下校中に災害が起こった場合どのような行動をとればよいか」を考えてもらいました。